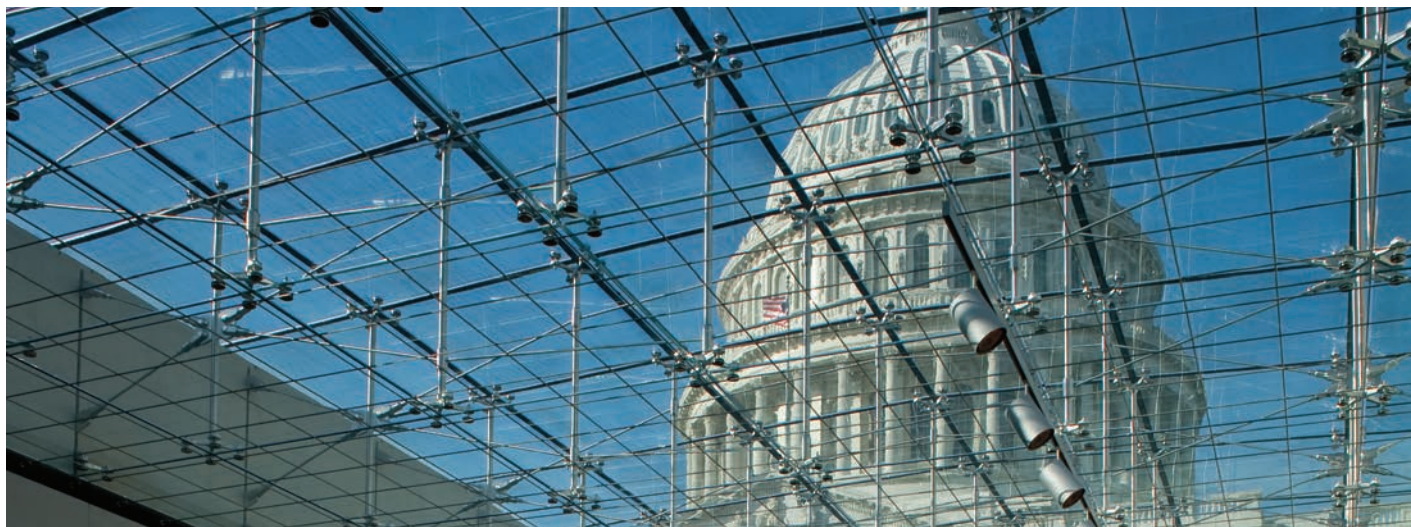


連邦議事堂 訪問者ガイド



U.S. CAPITOL
ビジターセンター



連邦議事堂によろこそ

歴史的な連邦議事堂への訪問は、議事堂ビジターセンターに入場された瞬間から始まります。議事堂ビジターセンターは、高くそびえる広大な内部空間と天窗を通して見える議事堂ドームの景観をもって、発見の旅へと出発なさる皆様を歓迎します。連邦議事堂は連邦議会とそれを構成する連邦上院、下院のある場所です。映画、展



ジョージ・ワシントンの神化

示、ツアーを通じて、連邦議会がどのように機能しているのか、この荘厳な建物がどのように建造されたのか、議会制民主主義と呼ばれるこの驚くべき実験にどのように市民が参加できるのかを学んでいただけます。

連邦議事堂は、米国民の記念碑として存在しています。そこで、国家が直面する課題が検討され、議論され、法制化されます。さらに連邦議事堂には米国の重要な美術品が所蔵されており、建物自体が建築上の業績といえます。連邦議会で歴史が創られますが、議事堂ビジターセンターは皆様がその歴史へと入ってゆく通路ともいえるでしょう。

2007年12月18日、連邦議会は議事堂ビジターセンターの中央空間を「奴隷解放ホール」と命名する法案を可決しましたが、これは議会議事堂の建設を助けた奴隷労働者の功労を称えるためでした。議事堂ビジターセンターの下の階にある奴隷解放ホールは、議事堂を見ようとお出でになる訪問者のための中心的な集合場所です。

連邦議事堂のガイド付ツアー

連邦議事堂のガイド付ツアーは、議事堂ビジターセンターの下の階にあるオリエンテーション劇場から始まります。「多くから創られた一つ」という13分間の映画は、米国が新しい形態の政府をどのように確立したかを説明し、米国民の日常生活の中で連邦議会が果たしている重要な役割を強調し、連邦議会が置かれている建物を皆様にご紹介します。

連邦議事堂の無料ツアーは、月曜日～土曜日、午前8時40分～午後3時20分の間に行われます。整理券が必要です。

予約券：ツアーは、オンライン www.visitthecapitol.gov から、ご自分の州の上院・下院議員を通じて、あるいは議事堂ビジターセンター事務所、電話 (202) 226-8000 への連絡で、事前予約が可能です。



当日券：毎日、限られた数の整理券が、議事堂ビジターセンターの下の階にある奴隷解放ホールの案内所で配布されます。



特別ツアーとプログラム

特別ツアーや特別活動に参加することによって、連邦議会と連邦議事堂の歴史についてより詳しく学ぶことができます。奴隷解放ホールの案内書、もしくは www.visitthecapitol.gov/event-calendar サイトで最新のスケジュールを確認して下さい。

展示ホール

連邦議会と連邦議事堂の物語を語ることに捧げられたインタラクティブな展示をご覧ください。架空の法案の通過に携わってみたり、議事堂の美しい部屋の数々をバーチャルツアーで探索したり、12の重要な法律作成の際の国民と議員とのやり取りを学んだりできます。モデルや作品に手で触れて、議事堂とはどんなところかを実感しましょう。また、デモクラシー・ラボで体験学習アクティビティにご参加ください。月曜日～土曜日、午前8時30分～午後4時30分。議事堂ビジターセンターの下の階の自由の像の後ろからお入りください。



会期中の議会審議の見学

整理券：上院・下院ギャラリーは両院の会期中には常に訪問者に公開されています。ただギャラリーは連邦議事堂ツアーには含まれていません。整理券が必要で、訪問者の州選出の上院議員または下院議員の事務所から入手できます。ギャラリーへの入場は議事堂ビジターセンターの上の階から入ります。外国からの訪問者は、上の階にある下院・上院のそれぞれのアポイントメントデスクに問い合わせてください。

下院見学時間：下院が会期中ではない時も、訪問者は整理券を持っていれば、月曜日～金曜日の午前9時～午後4時15分までギャラリーに入場できます。ギャラリーへの最後の入場時間は入場希望者数にもよりますが、午後4時までです。下院が会期中である場合を除き、ギャラリーは週末と休日は閉館となります。下院ギャラリーは下院が会期中でない場合、予期しない形で一時的に閉館になる可能性があります。下院についての詳細情報は、www.house.govをご覧ください。

上院見学時間：上院ギャラリーは1週間以上の通常休会の間も公開されており、訪問者は整理券を持っていれば、月曜日～金曜日の午前9時～午後4時15分まで入場できます。上院が会期中である場合、あるいは1週間以内の休会・臨時休会である場合を除き、ギャラリーは週末と休日は閉館になります。上院ギャラリーの見学時間に変更される可能性もあります。詳細情報のためには、電話(202)224-0057にご連絡ください。

議会図書館

議事堂ビジターセンターから議会図書館トンネルを通して、偉大な国宝の一つである議会図書館の歴史的なトーマス・ジェファーソン館に直接行けます。トンネルの入口は、議事堂ビジターセンターの上の階の下院のアポイントメントデスク付近にあります。



議事堂の敷地

議事堂は、曲がりくねった小道、記念樹、ベンチ、季節ごとに植え替えられる美しい花壇が散在する58.8エーカー(23.8ヘクタール)の敷地内にあります。現在の敷地は、著名な造園技師フレデリック・ロー・オルムステッドが1892年に完成させた設計図をもとに造ったものです。敷地を散策なさって、東側広場にある見事な青銅・石造りの噴水と燈籠をご覧ください。これらは議事堂ビジターセンターの建設中に本来の美しい姿に復元されました。

議事堂の敷地は、大統領就任式、独立記念日コンサートの会場として使われ、毎年300万人以上が訪れます。この歴史的な景観をご満喫ください。

訪問での必見リスト

特別ツアー — 予定表は議事堂ビジターセンターの職員からお受け取りになるか、www.visitthecapitol.gov/event-calendarをご覧ください。

特別アクティビティと家族プログラム — 予定表は、www.visitthecapitol.gov/event-calendarをご覧ください。議事堂ビジターセンターの職員からお受け取りください。

エブラハム・リンカーンの二期目大統領就任式で使用されたテーブル — 議事堂ドーム用の鉄製鋳型の余った部分で造られました。(展示ホール、マサチューセッツ州歴史協会提供)



リンカーンの
テーブル

天窓を通してのドームの景観 — ビジターセンターの下または上の階から上を見上げてみてください。

自由の像の石膏模型 — 議事堂ドーム上の自由の像を青銅で鋳造するために使用されました。(奴隷解放ホール)

彫像の所蔵品 — 国立彫像ホール所蔵品のいくつかは議事堂ビジターセンター全体に置かれており、14点は奴隷解放ホールにあります。(彫像の説明はこのパンフレットの裏側を参照してください。)

下院・上院ギャラリー — ビジターセンターの上の階から入ってください。ご自分の州選出の上院議員または下院議員から整理券をもらってください。

奴隷労働を記念する位置標識 — 砂岩の位置標識は奴隷労働者が連邦議事堂の建設に果たした役割を事実であると認めるものです。(奴隷解放ホール)



奴隷労働を記念する
位置標識

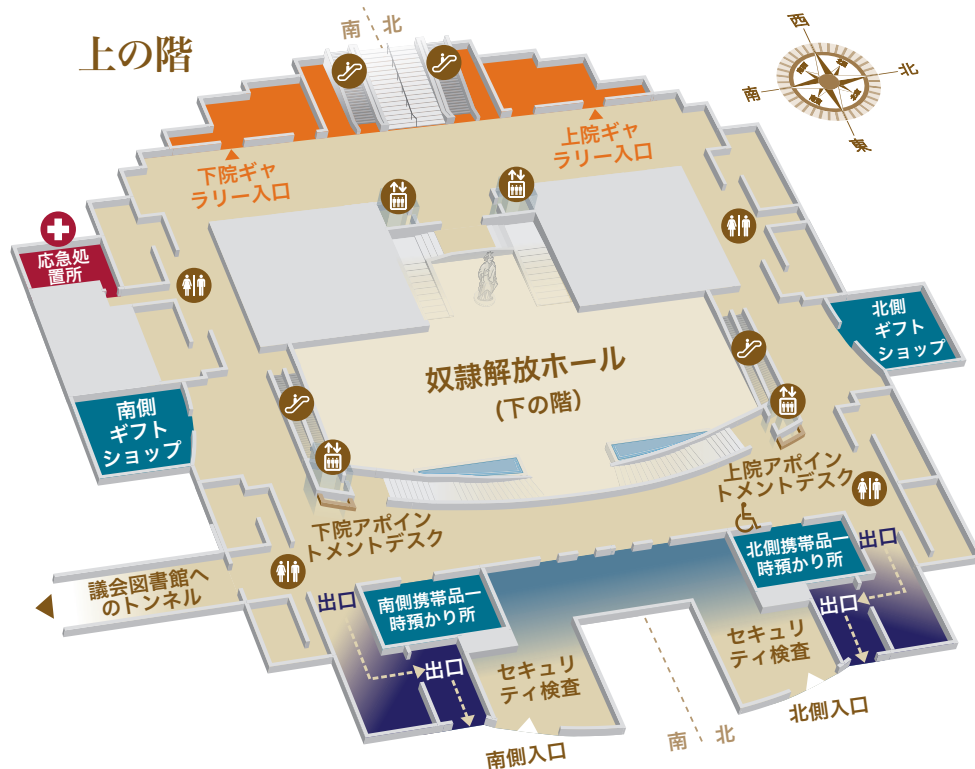
U.S. CAPITOL ビジターセンター

- 案内所 / ツアー整理券
- エスカレータ
- エレベータ
- お手洗い

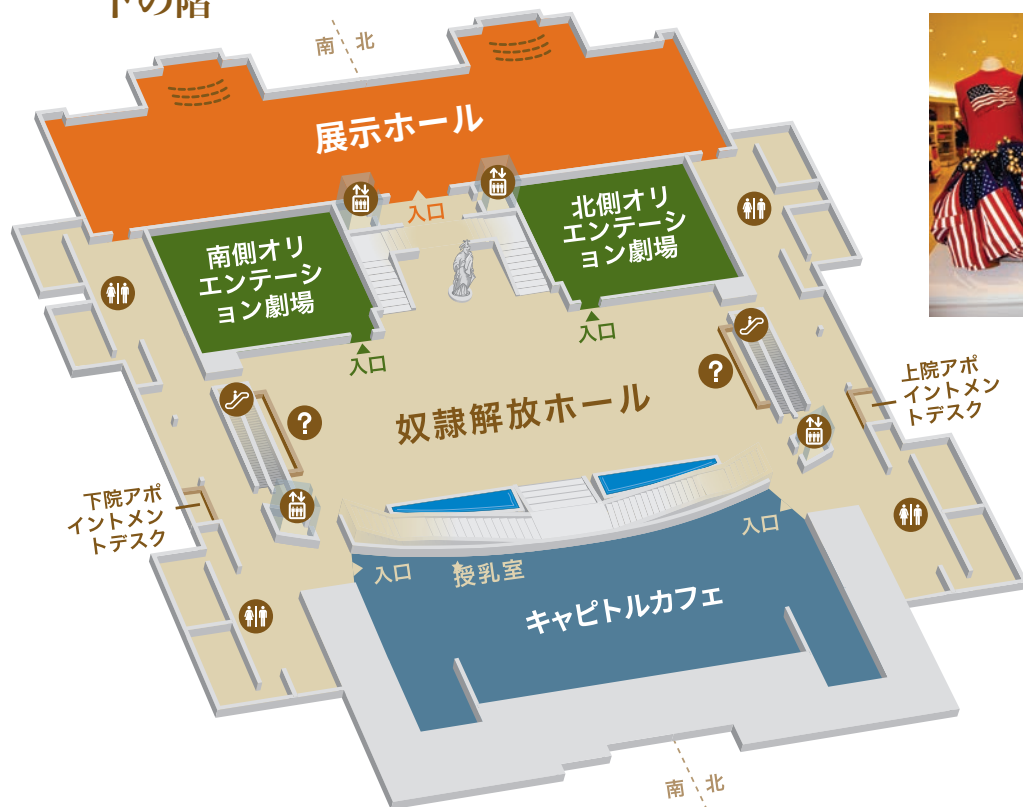
訪問者は、上の階の訪問者用入口の右にある北側携帯品一時預かり所か、議事堂ビジターセンターにて職員に車椅子を要請できます。お手洗いは障害をお持ちの方でもすべてご利用可能です。

授乳室は、下の階のキャピトルカフェの南側にあります。家族用お手洗いは、8カ所あるすべてのお手洗い近くにあります。

無料Wi-Fi、CVC-Guestをご利用ください



下の階



ギフトショップ

ギフトショップ (上の階) : 議事堂の美術と建築の特徴に発想を得た独自の品々や、楽しく学べるギフト、書籍、アクセサリ、議事堂ビジターセンターでのみ扱っているものの中から素晴らしいお土産をお選びください。すべて米国製です。月曜日～土曜日、午前9時～午後4時30分



食堂

キャピトルカフェ・レストラン(下の階): 出来立てのスープ、サラダ、特色のある主菜、ピザ、サンドイッチ、デザート、飲み物などは、米国の豊かな大地の恵みをお楽しみください。月曜日～土曜日、午前8時30分～午後4時



議事堂ビジターセンターにある彫像

連邦議事堂の国立彫像ホールの収蔵品は、各州が寄贈した彫像で構成されています。各州を代表する彫像は、州議会がその州の傑出した市民を称えるためにそれぞれ2点ずつ選んだものです。議事堂ビジターセンターに展示されている彫像は、米国の多様性と国民の貢献を表しています。

制作者の氏名に続く年号は、彫像が収蔵品に加えられた年を示します。

フィロ・T・ファーンズウォース(1906～1971年)ユタ州、ジェームズ・R・アヴァティ作の銅像、1990年。発明家。初期のテレビジョン・システムを考案した功績で「テレビの父」と呼ばれる。高校時代にテレビを最初に思いついた。初期のテレビには彼の100件の特許が活用された。赤外線夜間照明、電子顕微鏡、保育器、胃カメラ、天体望遠鏡、レーダーの開発に使用された発明に対して160件以上の特許を取得。彫像は1920年代に彼が発明した電子カメラの撮像管を手を持っている姿。



ポペ(1630年頃～1692年以前)ニューメキシコ州、クリフ・フラグア作の大理石像、2005年。プエブロインディアン宗教的、精神的指導者。現在のニューメキシコ州に当たるサンファン・プエブロに生まれる。プエブロ族の文化存続を保証することを助け、米国西南部の歴史に残る1680年のスペイン人に対するプエブロ族反乱の組織者。彫像は反乱のタイミング調整に使われた熊の呪物と結び目のあるロープを持っている姿。彫像にはプエブロ族文化の象徴である鍋も入っている。

ジャネット・ランキン(1880～1973年)モンタナ州、テリー・ミンモー作の銅像、1985年。ソーシャルワーカー、講演者、1917～1919年と1941～1943年に在任した連邦下院議員。連邦議会議員に選出された最初の女性。平和と女性の権利のために活動した著名なロビイスト。米国の第1次、第2次世界大戦への参戦に反対票を投じた。「女性として出征することはできないし…他の人を戦争に送ることも拒否する」と述べて1941年の対日宣戦布告に反対した唯一の下院議員。



マリア・L・サンフォード(1836～1973年)ミネソタ州、エヴェリン・レイモンド作の銅像、1958年。教育者であり女性の権利擁護者。婦人参政権とアフリカ系米国人教育を支持し、成人教育とPTA(父母と教師の会)の概念を開拓。コネチカット師範学校を卒業。スワースモア・カレッジで歴史学教授。ミネソタ大学で20年間教鞭を取った。大学教授になった最初の女性の1人。



ジョセフ・ワード(1838～1889年)サウスダコタ州、ブルーノ・ベゲ作の大理石像、1963年。宣教師であり教育者。サウスダコタ州昇格運動の指導者。ダコタ準州の準州都ヤンクトンで牧師に任命を受ける。ヤンクトン・アカデミーを開校し、ヤンクトン・カレッジ創設に重要な役割を果たした。州憲法を起草し、州のモットーと州標章の説明を作成した。



ジョセフ・ワード(1838～1889年)アイダホ州、ブライアント・バーカー作の銅像、1947年。弁護士、1907～1940年連邦上院議員。上院教育労働委員会の委員長として労働省および児童局の創設する法案を提案。上院外交委員長。「アイダホの獅子」として知られる傑出した雄弁家。

ジョン・L・“ジャック”・スワイガート・ジュニア(1931～1982年)コロラド州、ジョージ・マーク・ランディーン作の銅像、1997年。パイロットであり宇宙飛行士。朝鮮戦争では空軍戦闘機パイロットおよび試験パイロット。1970年の米航空宇宙局(NASA)アポロ13号有人月飛行計画の乗組員3人のうちの1人だったが、酸素タンクの爆発により計画は中止された。乗組員は宇宙空間で約6日間を過ごした。下院科学技術委員会の補佐役指導者。1982年に下院議員に選出されたが、就任1週間前に死亡した。



ワシャキー酋長(1800年頃～1900年)ワイオミング州、デイク・マクギャリー作の銅像、2000年。ショショーニー族の戦士でありスポークスマン。フランス語、英語のほか、アメリカ先住民諸言語を流暢に話した。ショショーニー族の複数集団を統一した。ワイオミング州の約121万ヘクタール以上の土地をショショーニー族の居住地として保全・保証するため米陸軍と交渉。米軍の軍装の礼で葬儀が挙行された。着衣の紋様は細密に着色されている。

エウセビオ・フランシスコ・キノ(1645～1711年)アリゾナ州、スザンヌ・シルバークルイズ作の銅像、1965年。宣教師、探検家、地図作成者。イタリア生まれのイエズス会修道士。メキシコと南カリフォルニア探検のための遠征隊を指揮し、アリゾナ州南部のピマ族先住民アメリカインディアンと協力した。カリフォルニアとアリゾナに伝道所、牧場、道路を建設した。彫像は、星の位置からの緯度算出に使用されたアストロラーベ(天体観測儀)を手を持っている姿。



サラ・ウィネマッカ(1844～1891年)ネバダ州、ベンジャミン・ビクター作の銅像、2005年。通訳者、教育者、作家。自分が所属したパイユート族と米国陸軍との間の交渉を担当した。アメリカ先住民児童向けの学校を開始し、先住民言語と英語の両方で教えた。その自叙伝「パイユート族の中での暮らし:その間違いと主張」は先住アメリカインディアン女性の著作による最初の著書だった。彫像はパイユート語の自分の名前であるシェル・フラワーを手に持った姿。



マザー・ジョセフ(1823～1902年)ワシントン州、フェリクス・W・デウエルドン作の銅像、1980年。宣教師であり建築家。カナダのモントリオール近郊でエスター・パリソーとして生まれ、20歳でカトリック修道女になった。宣教師を率いて、将来ワシントン州になる地域を含む米太平洋岸北西地域に行った。11軒の病院、7校のアカデミー、5校の先住アメリカインディアン用学校、2軒の孤児院のための資金を集め、その設計を行い、建設を監督した。台座には製図器具と彼女の手懸けた建物の画像が示されている。



ヘレン・ケラー(1880～1968年)アラバマ州、エドワード・フラブカ作の銅像、2009年。著作家、講演者、身体障害者のためやその他の社会目的のための活動家。幼児期の病により視力と聴力を失った。手話、弁論、ブライユ点字法を習得。盲目、聾啞者として初めて大学を卒業。「世界に対するアメリカの親善大使」として知られた。彫像は、初めて「水」という言葉を理解し、意思疎通を学んだアラバマ州タスカンビアの自宅にあった井戸ポンプの傍にいた7歳の子供としての姿。



サカガウィア(1788年頃～1812年)ノースダコタ州、銅像、レオナード・クルネルの1910年作の彫像の複製、2003年。通訳者でありガイド。1805年に、生まれたばかりの息子を抱え、現在のノースダコタ州で、メリウェザー・ルイスとウィリアム・クラークが率いた北西部遠征隊を補助した。彼女の存在は、諸部族に対して遠征が平和的なものであることを示した。旅行者、翻訳家、外交官、妻、母として崇められている。所属していたヒダーツァ族からサカガウィアまたは「鳥の女」という名前を与えられた。



国王カメハメハ1世(1758年頃～1819年)ハワイ州、青銅と金の彫像、トーマス・R・グルドの1879年作の彫像の複製、1969年。戦士であり国王。ハワイの人の居住する全島々を自らの統治下に統合。貿易を奨励し、ハワイを世界に開国した。カメハメハ大王とも呼ばれる。彫像は、中折帽とハワイの鳥マモの羽毛からできた外套を含む金箔のハワイ王室の正装を着た姿。



自由の像

自由の像の石膏模型の原物が復元され、訪問者は、議事堂ビジターセンターの奴隷解放ホールを中心として、現在その寓話的人物の姿を間近に見ることができます。模型は高さ約6メートル、重さ約5.9トンです。



1857年、ローマで活動していた米国人彫刻家トーマス・クラウフォードが自由の像の石膏模型を完成させました。クラウフォードの死後、別の米国人彫刻家クラーク・ミルズがワシントンDCにあった彼の鋳物工場で銅像を鋳造するために雇われました。石膏模型を組み立てた労働者が法外な追加報酬の支払いがない限り模型の分解を拒否すると言った時、クラーク・ミルズが所有していた奴隷職人フィリップ・リードが模型を各部分に分解する方法を見つけ出し、それを鋳物工場に運んで型を取れるようにしました。

リードはそこで、鋳型の下に火を燃やし続ける責任を任せられ、石膏模型の部分部分が青銅で鋳造される作業で他の奴隷労働者と協力しました。1862年に完成した銅像が議事堂の敷地に運び込まれる直前に、フィリップ・リードは奴隷の身分から解放されました。1863年12月2日にドームの上に銅像の最後の部分が組み込まれた時、彼は自由人でした。

自由の像の石膏模型は、奴隷解放ホールの西側、展示ホールの入り口の前に目立つように立っています。



議事堂ビジターセンターの上の階の彫像

次の3点の彫像は、上の階の奴隷解放ホールを見渡す東側ロビーに置かれています。

エドワード・ダグラス・ホワイト (1845～1921年)
ルイジアナ州、アーサー・C・モーガン作の銅像、1955年。弁護士、州議会議員、1891～94年に連邦上院議員、1894～1921年連邦最高裁判所判事、1910～1821年に連邦最高裁判所長官。16歳で南軍に従軍したが、後に最高裁判事としてアフリカ系米国人の投票権を支持した。クリーブランド大統領により最高裁判事に指名された。



アーネスト・グリューニング

(1886～1974年) アラスカ州、ジョージ・アンソニセン作の銅像、1977年。ジャーナリスト、アラスカ準州知事、1959～1969年連邦上院議員。医学校を卒業したが、ボストン、ニューヨークで報道記者、編集員、編集主幹になった。アラスカ国際高速道路委員会の委員に任命され、1939年から1953年に退職するまで知事を務めた。アラスカ州選出の最初の2人の連邦上院議員の1人。「アラスカ州昇格の父」と呼ばれる。



ジェームズ・P・クラーク (1854～1916年) アーカンソー州、ポンペオ・コピニ作の大理石像、1921年。弁護士、州議会議員、州司法長官、知事、1903～1916年連邦上院議員。2期にわたり上院仮議長に選ばれた。パナマ運河プロジェクト、フィリピン独立を支持。連邦上院商業委員会の委員長として、雇用者責任と労働者災害補償の法案承認を助けた。



Who Are the People?

奴隷解放ホールの一部の彫像とそれらが表している人々について「Who Are the People?」拡張現実アプリでさらに学びましょう。Apple App StoreやGoogle Playから無料でダウンロードできます。



オンラインで見る 国立彫像ホールコレクション

このコードをスキャンして国立彫像ホールの収蔵品ガイドをご覧ください。

議事堂の芸術を尊重する

皆様の訪問中、議事堂の彫像やその他の芸術作品の保護のために、作品鑑賞の際に作品にはお触れにならないようお願いいたします。触れますと損傷の原因になります。

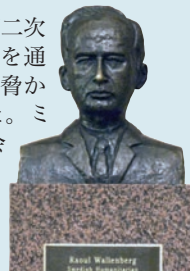
人権運動指導者に敬意を表して

フレデリック・ダグラス (1818～1895年) はメリーランド州タルボット郡で奴隷として生まれました。彼は米国で最も影響力ある公民権、人権の擁護者の1人になりました。1838年に奴隷生活を逃れた後、マサチューセッツ州ニューベッドフォードに移住し、奴隷制度廃止運動に身を挺するようになりました。自叙伝を3冊執筆し、25年間住み続けたニューヨーク州ロチェスターで米国有数のアフリカ系米国人の新聞を発刊しました。南北戦争中、ダグラスは新しく組織されたアフリカ系米国人の連隊のために兵士を募りました。1872年にはワシントンDCに移住し、数度にわたり公職に任命され、1895年に亡くなりました。ダグラスは生涯を通じて、アフリカ系米国人および女性の選挙権、奴隷から解放された自由民の平等な権利、リンチ禁止法のために休むことなく働き続けました。2013年6月19日に連邦議会の法律により、コロンビア特別区から寄贈されたステイブン・ワイツマン作のフレデリック・ダグラスの彫像が奴隷解放ホールに設置されました。



ソジャーナ・トゥールースは1797年に奴隷として生まれイザベラ・ボームフリーという名前でしたが、9歳の頃に初めて競売で売られました。30歳になるまでに、イザベラは5人の所有者により奴隷として使われましたが、1826年に勇敢にも歩いて立ち去り自由の身になりました。そして宗教的信念から名前をソジャーナ・トゥールースと改名し、奴隷制度廃止と女性の権利について演説する活動を開始しました。アーティス・レーン作によるソジャーナ・トゥールースの胸像は連邦議事堂におけるアフリカ系米国人女性を称える最初の彫像です。その除幕式は2009年4月に奴隷解放ホールで行われました。

ラウル・ワレンバークはスウェーデンの外交官で、第二次世界大戦中に在ブダペストのスウェーデン大使館を通じて、ナチス占領軍とハンガリー人協力者により脅かされていた何万人ものユダヤ人の命を助けました。ミリ・マーゴリン作のワレンバークの胸像は連邦議会により1995年に受け入れられました。





議事堂ツアーの予約と整理券

議事堂に到着時に、ツアーを事前予約し、予約確認あるいは確認番号をお持ちの場合は、下の階の右（北）側にある案内デスクに進んで、議事堂ツアーの整理券を受け取ってください。

議事堂に到着したものの、議事堂ツアーの時間を事前に予約していなかった場合には、下の階の左（南）側にある案内デスクにある「予約のないビジター」の列に進んでください。

注意事項：連邦議事堂のツアーは予告なしに中止されることがあります。中止の通知は、www.visitthecapitol.gov のサイトとソーシャル・メディアに掲示されます。

訪問者は、ツアーのハイライトを示す順路に沿った議事堂ツアー配布物の外国語版を、英語以外の数カ国語で、ビジターセンター下の階の案内デスク、あるいは訪問者ガイドからもらうことができます。配布物の言語は、アムハラ語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、ヒンズー語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、ベトナム語です。

議事堂ビジターセンターのウェブサイト

www.visitthecapitol.gov/subscribe から最新情報をご覧ください。

連邦議事堂を訪問していただき、ありがとうございました。皆様のご意見は私たちにとって大切です。実際に訪問されてのご感想を comments@visitthecapitol.gov までお知らせください。



U.S. CAPITOL

www.visitthecapitol.gov